

平成17年4月28日

各 位

会社名 株式会社 エス・サイエンス
代表社名 代表取締役社長 品田 守敏
(コート番号5721 東・大証第1部)
問合せ先 常務取締役 太田 洋三
(TEL 03 - 3216 - 6431)

平成17年3月期業績予想の修正について

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16年 11月 29日の中間決算発表時に公表した平成17年3月期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)の個別業績予想を下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 17年3月期通期業績予想数値の修正(平成 16年 4月 1日～平成 17年 3月 31日)

<個別>

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 16年11月29日 発表)	3,480	815	775
今回修正予想(B)	3,169	2,020	3,270
増減額(B - A)	311	1,205	2,495
増減率	8.9	147.8	321.9
前期(平成16年3月期)実績	2,430	3,039	9,341

2. 修正理由

当社は、平成18年3月期の黒字化に向けて平成17年3月18日に発表した「企業再生及び収益向上への取り組みについて」のとおり、金属微粒子事業製造部門を(株)オークサイエンスへ譲渡するとともにニッケル部門の合理化を行いました。また、環境事業におけるコンポスト化実証実験設備についても、平成17年3月末で設備を管理している(有)朝霧牧場に譲渡いたしました。

詳細については現在集計中ではありますが、平成17年3月期の売上高は、不動産、教育関連事業の売上が不振だったものの、ニッケル事業についてはLM Eニッケル価格騰勢により増収となり、予想に対し9%弱の落ち込みにとどまりました。

損益面では各事業部門が減益となり、新株予約権の発行及び行使による手数料等で一般管理費及び営業外費用が増加したため、経常損失が増加しました。

また、上記の譲渡等に伴い、金属微粒子関係で840百万円、コンポスト化実証実験設備譲渡で375百万円、リストラ関連で33百万円等を特別損失として計上するため、当期純損失が増加する見込みです。

なお、連結業績予想につきましては、現在集計中であり、集計次第お知らせいたします。

以上